



大船渡水産振興センター「復興板」

令和元年11月6日発行 第80号

1 漁港関係施設の災害復旧工事 進捗状況

令和元年9月30日現在の管内県営漁港関係施設災害復旧工事の進捗率は、85%となっています。
(令和元年9月30日現在)

	災害査定 (R1再調査決定額)		発注		進捗状況		完成
	件数	本工事費 (千円)	件数	発注額 (千円)	出来高 (千円)	率 (%)	件数
漁港	242	33,037,441	240	32,643,342	32,498,079	98	230
漁港海岸	11	33,784,333	11	27,638,844	23,856,723	71	4
漁場	2	498,880	2	498,880	498,880	100	2
合計	255	67,320,654	253	60,781,066	56,853,682	85	236

・ さっちゃんNEWS part1

< 広田湾大漁まつりが開催されました >

10月27日に、陸前高田市広田漁港で「広田湾大漁まつり」が開催されました。広田湾の新鮮な海の幸が提供される本イベントは、震災後では5回目を迎えました。今年も、水産物の販売の他、カキむきや鮭のつかみ取りの体験などが行われ、大盛況となりました。



< 台風19号被害から復旧が進んでいます >

サンマ漁やサケ漁が不漁となっている中、10月13日未明から朝にかけて最接近した台風19号により、大船渡地区のサケ採捕場などに大きな被害がありました。

なお、サケ遡上の最盛期を迎えているため、現在、仮復旧された採捕場でサケ採捕が行われています。

大船渡地区の水産業の被害額は、水産関連施設等で約36百万円、漁港関連施設等で約105百万（金額は精査中）となっています。



★★★_スマイル130 (いちさんまる) プロジェクトについて_★★★

「130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔を(県外、世界に)届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組む職員の高揚感を盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、岩手のあるべき未来に追いつく復興を推進する取組みです。

2 水産施設等の復旧・魚市場の水揚げ状況

(1) 共同利用施設等の復旧状況

漁協や各漁業者、水産加工業者などが共同で利用する施設の整備を支援しています。
令和2年度に巻揚機1件の整備が予定されています。

(2) 大船渡市魚市場の水揚げ状況（平成31年1月1日から令和元年9月末累計）

令和元年		平成30年		震災前 (H20~H22の平均)		前年比 (H30/H29)		震災前(H20~ H22の平均)との 対比	
数量(ト)	金額(千円)	数量(ト)	金額(千円)	数量(ト)	金額(千円)	数量(%)	金額(%)	数量(%)	金額(%)
18,684	2,214,274	20,607	3,100,085	28,573	3,170,348	91	71	65	70

出典：いわて大漁ナビ

平成31年1月から令和元年9月までの大船渡市魚市場の水揚げ量は18,684トンで、昨年の約9割、震災前の約7割でした。主な水揚げ魚種は、イサダ(5,590トン、2億8千万円)、サバ類(5,461トン、4億3千2百万円)、マイワシ(2,751トン、1億3千5百万円)などでした。なお、10月29日現在のサンマの水揚げ量は1,618トン、サケの水揚げ量は33トンで、昨年同日現在の水揚げ量と比較すると、それぞれサンマは14%、サケは38%となっています。

・ さっちゃんNEWS part2

＜いわて水産アカデミー研修生「岡野竜也さん」の紹介＞

おかの たつや

今年4月から開講した「いわて水産アカデミー」の研修生の岡野竜也さんを紹介します。岡野さんは大阪府出身で、東日本大震災の惨状をテレビで見て、平成23年6月にボランティアとして大船渡入りしたことがきっかけとなり、現在、大船渡市大船渡町の新沼治さんの指導のもと、カキ養殖について研修中です。

当初は2週間程度で帰るつもりが、家屋の片づけや泥出しなど膨大な作業を行っているうちに、地域に長く携わりたい気持ちが生まれ、移住を決めたとのこと。

陸前高田市広田小学校で学童指導員として働くかたわら、地域の漁業を手伝っていました。すし屋での勤務経験からもともと海産物に親しみを持っていたこともあり、浜の仕事に魅力を感じるようになりました。そして、昨年からは新沼治さんの下で働きはじめ、現在、同アカデミー研修生として、漁業の基礎は集合研修で学び、実践は引き続き新沼治さんから学んでいます。

岡野さんは「漁業は自分に合っていると思います。学んだ技術を活かし、将来は地域に認められる漁業者になりたいです。」と話していました。

一年間の研修も半年を過ぎ、あと5カ月となりました。カキ養殖技術を習得し、岩手の漁業担い手の一人として末長い活躍を期待しています。



カキむき身作業中の岡野さん(右)



指導者の新沼さん



「さけの子さっちゃん」は、
大船渡水産振興センターの
PRキャラクターです



『復興板』に関するお問い合わせ先
沿岸広域振興局水産部
大船渡水産振興センター〔担当 宮田〕
岩手県大船渡市猪川町字前田6-1合同庁舎4階
TEL:0192-27-9915 FAX:0192-21-1229
E-mail:BG0004@pref.iwate.jp